

## 会議録

会議名	第1回宍粟市総合計画及び地域創生戦略委員会	
開催日時	令和7年11月6日（木）午前10時～午後0時	
開催場所	宍粟市役所本庁舎 4階会議室	
出席委員	谷笛 摩弥、浪花 正典、林 昌彦、石原 政司、西川 彩児、 西山 大作、山本 めぐみ、井上 裕司、田中 由理、大垣 陽子、 中本 弘美、小林 由美	
欠席委員	岡本 一也、成 将希、中野 志郎	
事務局 及び説明員	富田副市長 (市長公室)水口公室長、中尾次長 (地域創生課)久内課長、上月副課長、岸根係長、中瀬主査、 田渕主査 (秘書政策課)前野係長	
傍聴人数	2人	
会議の区分	公開	(非公開の理由) なし
協議事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱状の交付</li> <li>・副市長あいさつ</li> <li>・委員紹介及び委員あいさつ【資料①】</li> <li>・委員長及び副委員長の選任</li> <li>・委員長及び副委員長あいさつ</li> <li>・諮問</li> <li>・総合計画及び地域創生戦略委員会について【資料②-1、2】</li> <li>・第2次総合計画後期基本計画及び第2次地域創生総合戦略について【資料③】</li> <li>・第2次総合計画後期基本計画及び第2次地域創生総合戦略の実績報告について【資料④-1～3】</li> <li>・第3次総合計画策定に向けた基礎調査等の報告について【資料⑤-1～3】</li> <li>・第3次総合計画策定の考え方について【資料⑥】</li> <li>・その他</li> </ul>	
会議経過及び 会議資料	別紙のとおり	
会議録確認者	委員長 林 昌彦 (令和7年11月13日確認)	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
	<p>■開会</p> <p>■委嘱状の交付（副市長より各委員へ）</p>
副市長	<p>■副市長あいさつ</p>
全委員	<p>■委員紹介及び委員あいさつ【資料①】</p>
委員	<p>■委員長及び副委員長の選任 昨年度に引き続き、林委員に委員長を、石原委員に副委員長をお願いしてはいかがでしょう。</p>
全委員	<p>(異議なし)  (委員長に林昌彦氏、副委員長に石原政司氏を選任、承認)</p>
正副委員長	<p>■委員長及び副委員長あいさつ</p> <p>■諮問 (副市長より正副委員長へ、諮問書を交付)  (別途公務のため、副市長退席)</p>
事務局	<p>■総合計画及び地域創生戦略委員会について【資料②-1、2】 (説明)</p>
委員	<p>委嘱状の任期は令和7年度末となっているが、資料には令和8年度末までとある。</p>
事務局	<p>条例の定めにより任期は本年度末までとなるが、令和8年度末まで継続して計画策定に携わっていただくため、次年度も再度委嘱をさせていただく。</p>
委員長	<p>委員会の進め方について、限られた会議時間の中で皆さんに発言をいただくため、事務局説明は必要最小限にし、事前に送付される資料にあらかじめ目を通しておいていただければと思う。一問一答形式での進行では時間がかかるため、まずは一通り委員の皆さんのご意見をいただきたい。発言に対する回答なども、次回の委員会資料とあわせて整理されたものを見ていただくという運用でやっていければと考える。 最初に事務局から示される案を、それぞれの専門的な分野の知見もご活</p>

	用いただく中で提案・修正を行っていくという役割があるので、積極的に発言いただければと思う。
全委員	(異議なし)
事務局	<p><b>■第2次総合計画後期基本計画及び第2次地域創生総合戦略について【資料③】</b>            (説明)</p>
委員長	<p>今回は第3次計画を策定していくことなので、基本構想の部分から考えていかなければならない。ただ、全く新しいものをというわけではなく、「人と自然が輝き みんなで創る 夢のまち」をどう実現していくのかを考えていく。</p> <p>人口ビジョンの推計は、あくまで過去からのトレンドがこれから先も続くだろう、という前提でつくられている。つまり、これからどうまちづくりを進めるかによって変わってくる。それを決めるのが、これから先この委員会で協議する総合計画ということになる。</p> <p>総合計画は何でもかんでも詰め込めばいいというものではなく、宍粟市の強みを活かすことを考える必要がある。宍粟市の豊かな森林をまちづくりに組み込む視点であったり、木育という視点を強調したりと、メリハリの利いた第2次総合計画後期基本計画ということで策定してきた経緯がある。</p> <p>また、まちづくり全体に共通する重要な視点というのも、第2次計画で整理されていたものを引き継ぐ部分、変わっていく部分があるので、これから協議をして明らかにしていく必要がある。</p>
事務局	<p><b>■第2次総合計画後期基本計画及び第2次地域創生総合戦略の実績報告について【資料④-1～3】</b>            (説明)</p>
委員	<p>コロナの影響もあり、観光入込客数 100 万人という目標に対して 70～80 万人と大きく減ってしまった。「観光は元気でないといけない」ということを第一に思っている中で、観光客や地元住民、また観光協会が考えるニーズは目まぐるしく変化している。便利になるはずのデジタル技術の活用も、人によっては煩雑に感じて敬遠してしまうこともあり、難しいところである。</p> <p>「森林から創まる地域創生」ということで、森林資源を活かした観光振興をしているが、なかなか目標値には届かないことも多く、例えば、森林セラピーでは体験者数を年間目標 3,000 人として進めてきたが、現実として厳しく、数値は上がってこない。ニーズを把握できていないのではと思うこともある。現実的かつ分かりやすい方向性や指標を取り入れていくことが、これから必要ではないか。</p>

委員	<p>市に相談窓口を設けているが、それで就業環境がよくなっているか、といえばそうではなく、実態と政策のギャップを感じている。人口減少の大きな影響から、生活圏の中で人が減り、商圈の中で人が減り、商売が成り立たず、承継もできず自主廃業が増えており、それが地域の魅力を下げている印象がある。</p> <p>人材不足も深刻で、宍粟市と姫路市とを比較すると、自分の自由度ややりたい仕事とのミスマッチで差が大きくなっている。選択肢から宍粟市が漏れていっているのではないか。そういう理由で転入より転出が倍ほど多いイメージがあるが、そこにどう手を打つか見えてこないところが課題かと思う。</p>
委員	<p>少子化対策に関して、木製玩具の導入による木育環境の整備など、今いる子どもたちへの手立てはたくさんある印象だが、これから出生数を増やしたということであれば、お母さん方が何を求めているのかに視点を当てるべき。3人目を産みたいとなっても、上の子どもたちを見てくれる人がいなかつたり、移住者の方は近くに祖父母がいなかつたりするので、そういう点が強化されれば、子どもを持とうとする人が増えるのではないかと思う。</p>
委員	<p>人手不足の問題は林業分野でも顕著である中で、森林大学校の卒業生は即戦力になるということで、有効求人倍率も10倍程度あり人気である。しかし、今の2年生は10名、1年生は2名と、森林大学校に入学する人が非常に少ないことが課題であり、森林大学校卒業生の市内就職者数に関する目標の達成は難しいのではと考えるし、目標と現状のギャップを感じる。</p> <p>林業を学べる短期大学や林業大学校は全国に28あるが、その中で校名に「森林」を冠するのは宍粟と岐阜の2校だけで、林業だけでなく森林をより広くとらえて、樹木医学なども学べる多様なカリキュラムもある。しかし、就職先でみると林業事業体以外の選択肢はなく、例えば森林セラピーで食べていける道があるなど、就職の幅が広がればいいと思う。</p> <p>ずっと宍粟市で暮らしている若者は、森林が当たり前に近くにあり関心が希薄なので、地元の高校生が森林の魅力や必要性に気づき、実感してもらう必要がある。</p>
委員	<p>英語検定の補助金があるが、中学校で検定を受けないと対象にならない。同じ中学生でもレベルによって受けたい場所も違うこともある中で、どこで受けても補助の対象になるようにすれば、市全体として英語力が向上するのではないか。</p>
事務局	<p>■第3次総合計画策定に向けた基礎調査等の報告について【資料⑤-1～3】 (説明)</p>
委員長	<p>次回以降、事務局より委員会の協議項目が事前に示されるので、その時にこれらの資料を見ていただき、ご自身の意見の参考にするといった活用</p>

	<p>の仕方をしていただければと思う。</p> <p>■第3次総合計画策定の考え方について【資料⑥】 (説明)</p> <p>委員長 市の組織の中で計画案を作っていく際の参考であり、次回以降に当委員会へ示される案の前提ということで確認願う。</p> <p>■その他 (報告)<ul style="list-style-type: none"><li>・第2回及び第3回委員会の日程調整について</li><li>・会議録調整の流れについて</li></ul></p> <p>■閉会 副委員長 ここにおられる皆さんは、様々な分野でのご経験がある中で、まちづくりに対して思っていること、不安に思われていることを自由に発言いただくことでより良い計画案として表していく会にできればいいと思う。 本日はこれで閉会する。</p>
--	---